



辻 真理子議員
市民産業建設常任委員会

Q 職場環境を正常に戻すため、管理者はどのような対策を考えているか

A 職務遂行における管理運営規程の運用の厳格化を図る



Q 病院事業管理者を任命するのは誰か。

A 市長。

Q 院長を任命するのは誰か。

A 院長以下の職員の任命は管理者。

Q 地元紙が、病院幹部とスタッフ間でトラブルがあり、これらが原因で退職した看護師が複数いると報じたが、管理者から市長への報告は。

A 報道前に匿名で市に投書があり、私(市長)から管理者に問い合わせたところ、職員の退職の原因となるトラブル等は把握していないが、特定の職員に職務権限・職務範囲を超えた職務遂行があった旨の報告を受けた。

Q 市長の指示は。

A 綱紀粛正・服務規律の確保、管理運営規程の運用

の厳格化を指導した。

Q 職場環境を正常に戻すため、管理者の対策は。

A 市長の厳重注意・指導を受け、綱紀粛正等の管理者通知を発し、管理運営規程の運用の厳格化を図る。



▲彦根市立病院



馬場 和子議員
企画総務消防常任委員会

Q 国スポ・障スポに向け彦根駅西口一帯の整備計画は

A 安心・安全対策のための再整備は令和6年度の完成を目指す



その他の質問

- ・彦根駅西口に一階改札を
- ・公園利活用の提案(荒神山公園・庄堺公園・雨壺山一帯・金亀公園)について
- ・塩漬け地の現状と売却は

Q 国スポ・障スポに向けての彦根駅西口一帯の整備計画は。

A 彦根駅西口広場は昭和50年代後半に整備が行われたが、現状では通行車両が錯綜して危険な状態のため再整備を行う。具体的には一般車両とバス・タクシーを分離しロータリーには一般車両のみとする。タクシーの乗降場所は旧交番跡に、バス降り場はロータリー手前の信号機付近に設置し一般車両の安全性と利便性の向上を図る。併せて駅前広場を安心・安全に移動できるようバリアフリー化を行い憩いの場としての機能を充実することにより賑わいの創出も図りたい。

Q 進捗状況は。

A 地元関係者・関係機関との協議を行い合意形成を図っている。再整備に伴う用地取得の交渉を令和4年度に行い令和6年度の完成を目指す。



▲再整備計画が進んでいる彦根駅西口一帯



安澤 勝議員
市民産業建設常任委員会

Q 彦根・犬上広域一般廃棄物処理場に
係る協定項目事業の進捗状況は

A 彦根水谷線は令和6年度に。高根橋
は事業化が明確になっていない



その他の質問

- ・鳥居本将来ビジョンについて
- ・中山投棄場跡地利用について
- ・物価高騰による市民生活への影響について

Q 彦根・犬上広域一般廃棄物処理場協定項目事業のうち、県道彦根水谷線改良の状況は。

A 仏生寺付近は用地測量や詳細設計を終え、今年度中に地権者の理解を得て用地取得ができれば、一部工事にも着手する。完成時期は令和5年度を予定していたが、令和6年度にずれ込む可能性がある。百々付近は現時点では事業化に至っていない。

Q 矢倉川改修にあわせた高根橋拡張計画は。

A 高根橋は狭あいでの拡張の必要性は認識しており、県による矢倉川の改修工事にあわせて実施したい。国道8号から上流約400m区間が事業化されているが、高根橋までは事業化が明確になっていない。

Q 市の単独事業でできないか。

A 河川改修の断面が明確になったら先行して橋りょうの設置は可能と考えられる。



▲狭あいな県道彦根水谷線



野村 博雄議員
福祉病院教育常任委員会

Q 小・中学校の歯科保健や通学路の
安全、施設整備等の取組は十分か

A 関係者や関係部局等との連携を
一層進め、しっかり対応していく



その他の質問

- ・強い農業施策の推進について
- ・俳句文化の護持発展について
- ・積極的な緑の保全整備について
- ・急速な出生数減少への対応は

Q 令和3年度の歯科検診や体力・運動能力、運動習慣等調査結果を受けて今後の取組は。

A 歯科衛生士による学校訪問指導や家庭との連携、主体的な生活改善や体力づくりの推奨等の取組を進める。

Q 道路の損傷や大雪被害を受けた家屋に対する通学路の安全確保は図れているか。

A 関係部局や地域の方々との連携を進め迅速な対応に努める。

Q 彦根中学校の増築工事は生徒数増加にしっかり対応し、生徒の学習環境や学校生活が十分保障できるものとなっているか。

A 現在予想される増加に十分対応でき、採光や換気等も考慮し安全で安心して学習できるものとなっている。

Q 工事中の安全対策や駐車場の確保は十分か。

A 学校関係者や学校開放利用者、近隣住民等との連絡・周知を十分にいきい万全を期す。



▲彦根中学校増築工事の配置図





上杉 正敏議員
福祉病院教育常任委員会

Q これからの病院事業経営において重視すべきものは

A 医療の機能分化と連携強化そして医療人材の安定的確保である



その他の質問

・教員の働き方改革について

Q これからの病院事業経営において重視すべきものは。

A 病院事業経営において特に重視すべきと考えていることは2点ある。

1つ目は、医療の「機能分化」と「連携強化」である。感染症医療や災害医療を含め、医療需要の変動等に伴う様々な医療課題に対しては、病院単体ではなく、「地域全体」での医療機能の最適化の視点から、各病院が果たすべき役割・機能を明確化し、地域医療構想等を踏まえた機能分担および医療連携を推進していくことが重要である。

2つ目は、「医療人材の安定的確保」である。当該病院の果たすべき役割・機能的に対応できる人材配置となるよう、医師・看護師等の医療人材について安定的な人材確保と人材育成を行っていくことが大変重要であるとする。



▲機能分担・医療連携を推進する彦根市立病院



角井 英明議員
福祉病院教育常任委員会

Q 地球温暖化による気候危機への市の対応は

A 行政だけでなく市民や事業者など市全体で取り組んでいく



その他の質問

・小中学校や市の施設の太陽光発電について
・太陽光発電を使った環境学習について

Q 彦根市の8月の平均気温の推移は。

A 1日の平均気温を年代別にみると、1980年代では28℃を超えた年はないが、1990年代や2000年代はそれぞれ2年、2010年代は7年あった。

Q 温暖化についての見解は。

A 気象台が公開する本市の平均気温の推移をみると、温暖化は進行している。

Q 温暖化への対策は。

A 公共施設の照明のLED化など全庁で取り組むほか、市民や事業者等にも緑のカーテンや生ごみのたい肥化等に取り組んでもらうなど、市全体で取り組む。

Q 「彦根市低炭素社会構築都市宣言」の精神に立てば「気候非常事態宣言」をすべきでは。

A 本市の環境基本計画等で温暖化対策を位置付けているが、特化した計画はない。今後検討していく。



▲緑のカーテンコンテスト